

Hokkaido Parquet

本社・工場 〒049-0101 北海道北斗市追分5-6-20 TEL.0138 (49) 5871 FAX.0138 (49) 5875
 東京支店 〒166-0012 東京都杉並区和田3-32-7 TEL.03 (3313) 4181 FAX.03 (3313) 4034
 大阪支店 〒533-0013 大阪市東淀川区豊里5-28-3 TEL.06 (6327) 1231 FAX.06 (6322) 0910
 仙台営業所 〒981-0932 仙台市青葉区木町9-5 TEL.022 (219) 3621 FAX.022 (219) 3624
 水戸営業所 〒310-0852 水戸市笠原町1312-1 TEL.029 (305) 0311 FAX.029 (244) 3061
 札幌営業所 〒001-0035 札幌市北区北35条西10-1-3 TEL.011 (746) 0711 FAX.011 (746) 0713
 九州営業所 〒802-0833 北九州市小倉南区上石田2-4-40 TEL.093 (965) 8521 FAX.093 (965) 8520
 ホームページアドレス www.parquet.co.jp

2020.04 ※商品改良などにより、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますのでご了承下さい。

屋内スポーツ施設用木質フローリング床構造を進化させました。

こだわりとみんなの地球のために“ECO 木材”
北海道パーケット工業株式会社

屋内スポーツ施設用木質フローリング床構造を進化させました。

Cross-training

北海道パーケット式 ささくれ防止垂直張り工法

●フローリングのささくれを防止します。

上下左右の弾性床の振動に対してフローリング同士の摩擦を減少させるために、様々な形状のフローリングを安全に使用できます。

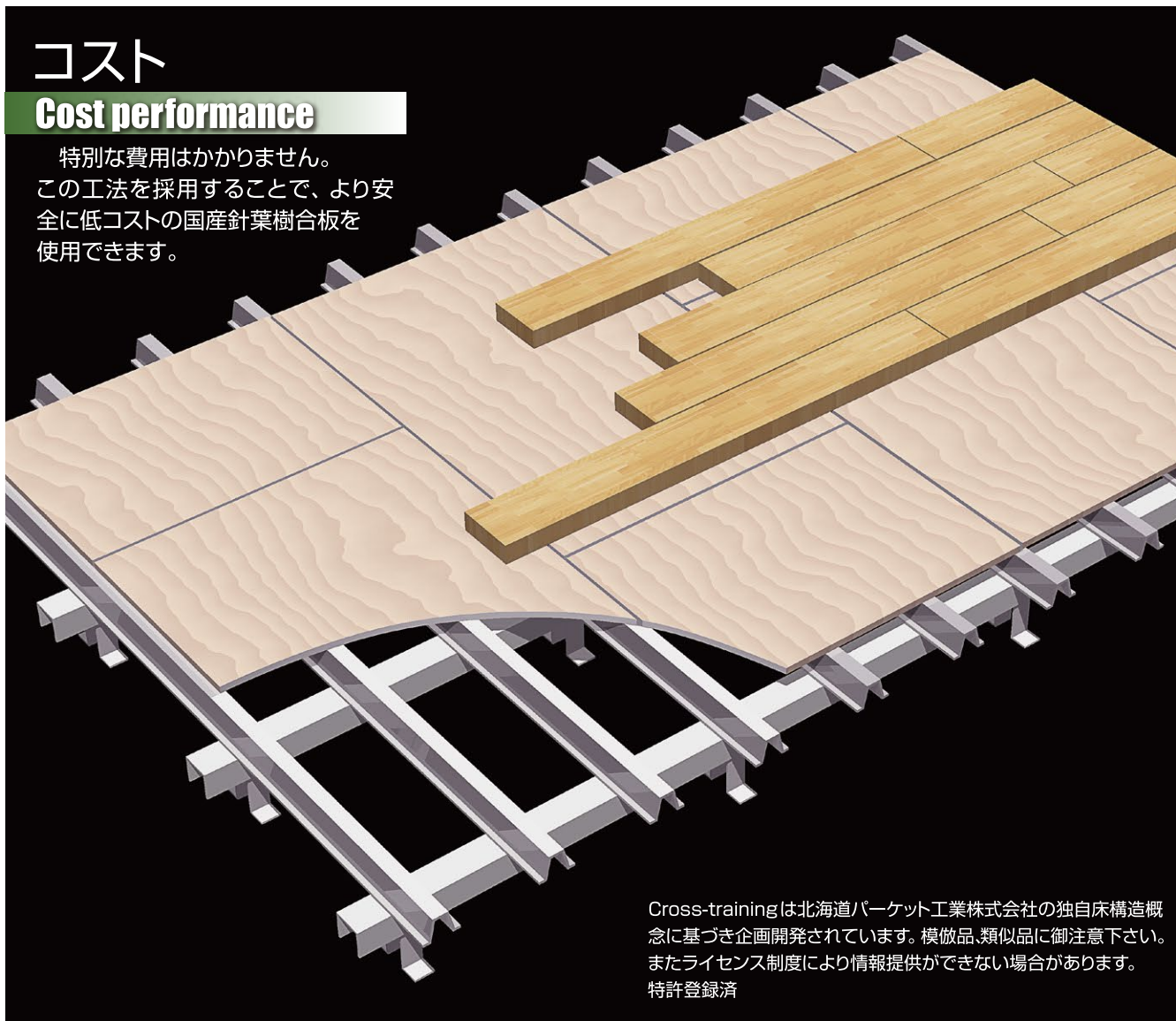
●床の歪(ひずみ)発生を防止します。

床下地大引き上部に必ず捨張合板の合板短手端部が配置されます。
床構造を限りなく面で捉え下地弾性のバラツキを解消します。

コスト

Cost performance

特別な費用はかかりません。
この工法を採用することで、より安全に低コストの国産針葉樹合板を使用できます。



Cross-trainingは北海道パーケット工業株式会社の独自床構造概念に基づき企画開発されています。模倣品、類似品に御注意下さい。またライセンス制度により情報提供ができない場合があります。特許登録済

木を諦めない 合成樹脂よりも優れた木の体育館

- ◆名称/北海道パーケット式ささくれ防止垂直張り工法
 - ◆使用条件/床下地、鋼製下地、置床下地
 - ◆捨て張り合板/12mm以上、日本農林規格、構造用合板*
 - ◆推奨フローリング/隠し特殊張り工法用スペシャルハイド VersionII
 - ◆使用ビス/38mm以上(フローリング止め)、25mm以上(捨て張り合板止め)
- ※杉を含む構造用合板は、強度不足の恐れがある為、当社では認めていません。

安全性

Safety

すべての床下地に施工できる。
床下地の機能をそこなわない。
天然木の心地よさをより安全に設計できる。

木のこころよさとスポーツの快適性は、プレイヤーの意見から証明されています。木の床の安全性は、新しい技術で進化します。木の心地よさは替わりがありません。



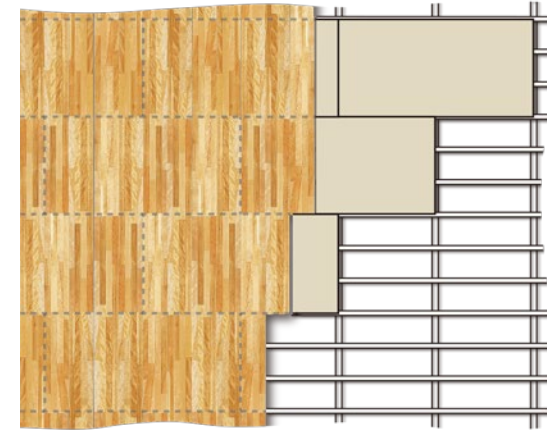
環境先進性

Environmental Assessment

木質フローリングを使用することでCO₂補完量をUPできます。

建材を石油製品でまかなう時代は終わりました。可能な限り身の回りのものを木質化していきましょう。木材は1m³あたり約250キログラムのCO₂を固定化したこととなります。

木質フローリングの体育館を作り上げることは、環境にやさしい体育館を未来に残すこととなります。CO₂を資産として、都会の森として所有することは、オーナーとして正しい選択です。

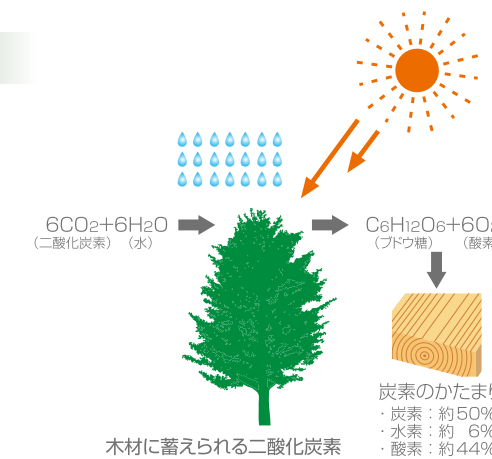


機能性・快適性

Functionality and Comfort

すべてのプレイヤーから支持されているのは、木質フローリングです。

日本の屋内運動施設は世界でもトップレベルの平滑性と安全性をもっています。床構造に対する技術、知識不足を補うための弾性塩ビシート工法は、建築技術の無い国々では支持されています。しかし、コンクリート床面に直接シート貼るだけの運動施設は、応急処置としての建材であり、日本では必要ありません。



合成樹脂の床を使用したプレイヤーに聞きました。



足の裏と膝、腰の負担がとても大きい。グリップ性が強く止まりすぎるため、ピボットターンがとてもしづらいなと感じました。(バスケットボール)



フライングレシーブの際グリップが利きすぎ、恐怖を感じる。床が硬い、疲労感がある。(バレーボール)



劣化後のグリップが利かない、過度のコーティングによるグリップが利きすぎる。足が引っ掛かる。(フットサル)



競技の性質上、木質床以外はむかない。(剣道)